

明治7年の台風

2021/08/26

一又七の七不思議—台風編—

野元新市

我が口永良部島が、明治7年8月の台風で甚大なる被害を受け政府に救援物資の米の援助を申し出ていることが、国立公文書館デジタルアーカイブに公開されているので紹介する [1]。何故紹介するのは理由がある。島津又七が口永良部島に移住した記載の文献が幾つもあり、明治元年から5年、2年、3年である。島津又七は、永吉島津家一所持第14代領主で幕末の家老である。しかし、又七の名が何処にもない。その筈である、その時又七は、霧島神宮宮司をやっていたと事蹟調書に記載されている。島津又七の移住と宮司についての詳細は、『島津又七 又七の七不思議 その移住編③ - ① [2]』『島津又七 又七の七不思議 その①霧島神宮編 [3]』に記載してある。結論、筆者の推測になるが、又七が口永良部島へ移住したと言う事に関しては甚だ疑問である。

明治7年10月15日 鹿児島県令大山綱良代理 田畑常秋より、内務卿伊藤博文殿へ

管下口永良部島風災ニ付キ御救助願

各島本年8月中両度非常ノ風災ハ逐次御届申立置候通立儀ニ御座候然ル處口永良部島之儀各島同様風災甚烈敷ク作毛ノ損耗ハ勿論島民平常生漁ノ稼ヲ以テ營業ノ助ニ致シ来候處台風巨浪ノ為メニ漁舟都而破況ニ及ビ今日ニ至リ生産ノ道盡果全島餓死ノ域ニ立至リ候ニ付戸長出頭致シ右ノ景況ヲ詳細陳述シ飢米石数別紙ノ通願出候ニ付猶又実況尋糺候處相違無御座候間賑○ノ典御下行相成候様仕度此○奉願候也

別紙 口永良部島

米92石7斗5升9合

米38石2斗5升9合

但15歳ヨリ59歳迄 男117人

1日1人 米3合宛 日数109日成

10月15日ヨリ亥1月31日迄

米54合5斗

但女176人 60歳以上 男20人

14歳以下 男54人 合計人数女250人

1人1日 米2合ツ、日数

同上

合男女人口367

明治7年12月2日 大臣 議長
参議 内務課
財務課

別紙内務省伺鹿児島県下口永良部島救助之儀審按候○實ニ非ノ風
災、相聞候間伺ノ通御聴○相成可然ト仔候依テ左按取調此段上陳
候也

御指令按

伺之通

大蔵省 御達按

別紙内務省伺 上 朱書ノ通及指令候条為心得此旨相達候事

明治7年12月13日

明治7年12月13日 大蔵省 太政大臣三条実美

(4行40文字位で記載されているが筆者には解読できない)

引用文献

- [1] <https://www.digital.archives.go.jp/item/2361042.html> 閲覧, “国立公文書館デジタルアーカイブ,” 2021年8月26日.
- [2] 野元新市, “島津又七 又七の七不思議 その移住編③一①,” 2021年6月14日.
- [3] 野元新市, “島津又七 又七の七不思議 その①霧島神宮宮司編,” 令和2年10月3日.